

# 令和4年度奈良県・市町村土木職員採用共同試験 自治体PRシート原稿

自治体名	<h2>奈良県</h2>		 <p style="text-align: right;">[県庁本庁舎]</p>
連絡先			
試験担当課	奈良県人事委員会事務局任用審査課		
所在地	〒630-8113 奈良市法蓮町757 奈良県奈良総合庁舎 2階		
電話番号	0742-20-4430		
ホームページURL	<a href="https://www.pref.nara.jp/9723.htm">https://www.pref.nara.jp/9723.htm</a>		
自治体紹介			
特徴・魅力はここ！	<p>奈良県では、県政の目指す姿である「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、経済の活性化や暮らしの向上に向け、直面する県政の諸課題に取り組んでいます。令和4年度は、県政の基本的な方針をまとめた「奈良新『都』づくり戦略2022」に基づき、3つの世界遺産や多くの史跡・名勝を有し、豊かな自然にも恵まれているという特徴を活かして、市町村と連携したまちづくりや、複数の市町村にまたがるようなプロジェクトに取り組んでいます。</p> <p>【奈良県が特に力を入れているインフラ整備のプロジェクト】      &lt;紀伊半島アンカールートの整備&gt;      奈良県の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、重点的な整備を推進しています。例えば、県南部地域の住民の生活を支えている「紀伊半島アンカールート」について、地域活性化や災害発生時の緊急輸送の確保のために、国と連携して早期整備に取り組んでいます。</p> <p>&lt;大和川流域の総合治水対策&gt;      県北部を流れる大和川の治水対策を「ながす・ためる・ひかえる」対策の3本柱により進めています。頻発化・激甚化が懸念される水害から県民の生活を守るため、ソフト・ハードの両面から対策に取り組んでおり、近年は、市町村と連携しながら、流域に降った雨を、川に流れ込む前に一時的に貯める貯留施設の整備にも力を入れています。</p> <p>【土木職員の働く様子を動画にしました！】      Youtubeで動画を公開中ですので、ぜひご覧ください (<a href="https://www.youtube.com/watch?v=cC8qjp26TvA">https://www.youtube.com/watch?v=cC8qjp26TvA</a>)</p>		
職員数	一般行政部門 3, 185人。うち土木職員の人数は483人(令和3年4月現在)		
先輩職員紹介①			
採用年度	平成27年度		
奈良県の職員になった理由	<p>就職活動をする中で、奈良県庁の土木職の業務説明会に参加したときに、若手職員の方からインフラ整備の魅力について話を聞き、興味を持ちました。そして、勤務地が県内で限られることや、幅広い業務があり様々な経験ができることから、就職先を奈良県庁に決めました。若手職員の方とお話をする中で、先輩や上司に仕事の悩みを相談しやすい職場環境であることや、プライベートの予定に合わせて計画的に休暇を取得できる環境であると知ったことも、奈良県を選んだ理由です。</p>		 <p style="text-align: center;">現場での施工者との打合せ(砂防堰堤工事)</p>
1日のスケジュール(例)	<p>《吉野土木事務所の場合》</p> <p>8:30 始業</p> <p>8:30～ 9:00 メールチェック・対応</p> <p>9:00～10:00 工事書類確認</p> <p>10:00～12:00 設計業務(設計コンサルト)の打合せ</p> <p>13:00～16:00 出張(地元説明、工事の施工状況確認)</p> <p>16:00～18:00 発注資料作成</p> <p>18:00 退所</p>		
仕事のやりがい 社会人としての成長	<p>私は、吉野郡吉野町にある吉野土木事務所に所属しています。土木事務所の仕事は、道路や河川などインフラの新設・改良や維持修繕を行うことです。</p> <p>具体的には、設計や工事の発注を行い、発注者として方針や進め方を判断し、建設コンサルタントや建設会社と協力して、インフラを完成させています。また、地元住民への事業説明や、行政機関(国や市町村)、電力会社など、関係機関との調整も重要な仕事です。</p> <p>様々な立場の方と関わりながらインフラ整備を進めていくため、時には難しい交渉に携わることもありますが、実際に工事が完成した時には大きな達成感を得ることができます。自身が携わった道路整備や地すべり対策により、地域がより便利に、より安全になっていくことから、非常にやりがいを感じる仕事であると思います。</p>		
受験者へメッセージ	<p>社会インフラ整備における行政の立場としては、プロデューサーをイメージしてもらえると良いかと思います。特に、大きいプロジェクトに携わりたい、幅広い業務がしたい、何か新しいことにチャレンジしたい、そのような方はぜひ、奈良県の土木職員として一緒に働きましょう。土木系の学科以外の方でも大歓迎です。興味のある方は、お気軽に吉野土木事務所までご連絡ください。</p>		

先輩職員紹介②

採用年度	平成30年度
奈良県の職員になった理由	<p>前職では、建設会社で勤務しており、全国を転々としながら土木工事（トンネル現場）の現場監督をしていました。その際、現場の周辺地域に住む方々へ工事の説明会や現場見学会を実施したことがあり、地域の方から感謝の言葉をいただき、嬉しく思いました。</p> <p>建設会社の仕事を続ける中で、地域の方々のために働きたいという思いが強くなっていき、公務員の仕事に興味を持ちました。中でも、生まれ育った奈良県の行政に携わりたいと思い、奈良県職員を志望しました。</p>
1日のスケジュール（例）	<p>《道路保全課の場合》</p> <p>8:30 始業</p> <p>8:30～ 9:30 メールチェック・対応</p> <p>9:30～12:00 市町村および土木事務所等への連絡調整</p> <p>13:00～15:00 国への提出物の資料作成</p> <p>15:00～17:00 課内説明</p> <p>17:00～18:15 残務処理</p> <p>18:15～ 退庁</p>
仕事のやりがい	<p>現在、私は本庁内にある道路保全課に所属しています。道路保全課の主な業務は、道路の交通安全の確保および維持修繕のための予算の確保や計画の作成、県内市町村の指導などです。</p> <p>バイパスの整備や道路の新設などの新たにインフラをつくる仕事ではありませんが、普段から使っている道路を、安全・安心に利用し続けるために必要不可欠なもので、まさに「縁の下の力持ち」という言葉が似合う仕事だと感じています。</p> <p>道路の安全の確保や維持管理に関する仕事は、所管する施設の量が多く、関係者も多岐にわたるため、協議や調整にしんどさを感じることもありますが、その分、人々の日常生活を支えているということがモチベーションにつながっており、日々の仕事に前向きに取り組んでいます。</p> <p>また、全国各地への転勤が当たり前だった前職とは異なり、県職員は県内での転勤が原則であるため、仕事の変化が生活に及ぼす影響が少なく済みます。私の場合は、奈良県内に住む両親のところへ何かあればすぐに駆けつけられることも、安心して働き続けられるひとつの要素であると思っています。</p>
受験者へメッセージ	奈良県職員は、地域に住む方々のよりよい暮らしの実現のために、一丸となって日々仕事に取り組んでいます。地域に住む方々の安心・安全のために働きたい、「縁の下の力持ち」として日々の生活を支える仕事をしたいという方は、ぜひ、県職員として一緒に働きましょう。



募集概要

求める人材・人物像	土木の専門知識を生かして、奈良県をより良くしたいという思いを持った人を求めています。
担当業務の具体例	<p>【道路、河川、下水道、都市公園などのインフラ整備に関する業務】</p> <p>土木職種で採用された県職員は、インフラ整備に関する企画、計画作成、設計、施工、維持管理といった一連のプロセスに携わり、予算の確保、発注や監督を担当することになります。</p> <p>インフラ整備は行政（公務員）や建設会社、建設コンサルタント、測量・調査会社などが協力し、それぞれの技術を積み重ねることで実現されますが、全てのプロセスに主体的に関わることができるのが公務員の業務の特徴です。</p> <p>【配属先と担当業務】</p> <p>本庁に配属された職員が主に企画、計画の策定、予算の確保を行います。一方、土木事務所に配属された職員は主に設計、施工などの発注監督業務等を行い、インフラ整備等を行うとともに、完成したインフラの維持管理も行います。</p>
勤務時間	原則として、8:30～17:15（休憩時間12:00～13:00）です。フレックスタイム制度があります。
採用ステップ	<p>○第2次試験（論文試験・適性検査） 10月下旬から12月上旬</p> <p>▼</p> <p>○第2次試験（個別面接） 10月下旬から12月上旬</p> <p>▼</p> <p>○最終合格発表 11月中旬から12月中旬</p> <p>▼</p> <p>○任命権者による意向聴取</p> <p>▼</p> <p>○採用者の決定</p>



福利・厚生（待遇）	
初任給	令和4年4月1日採用の月給（初任給） …月給177,678円（短大新卒で奈良市内勤務の場合。地域手当を含む。） …月給165,897円（高校新卒で奈良市内勤務の場合。地域手当を含む。） ■職務経験のある方には加算される場合があります。
手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務（時間外）手当、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）などが条件により支給されます。
昇給	年1回
賞与	年2回（6月、12月）で、令和3年度の実績は、年間4.25か月分でした。
休日休暇	原則として土曜日、日曜日、祝日 【休暇一覧】…年次有給休暇、結婚休暇、出産休暇、病気休暇、介護・看護休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、育児休業 など  【出産・育児に関する休暇等の概要】 育児休業の取得状況（令和2年度実績）は、女性100%、男性19.5%です。  出産休暇：産前産後8週間に取得可。 育児休業：3歳未満の子を養育するために取得可。 部分休業：小学校3年生まで、1週あたり18時間45分を上限に取得可。 子どもの看護休暇：12歳までの子の看護のため、年5日を上限に取得可。 育児時間休暇：1歳3ヶ月未満の子の育児のため、始業・終業時に1日60分を上限に取得可。 遅出勤務：子どもの保育所等への送迎で、正規の始業時間までに出勤困難な場合、勤務時間を15分又は30分遅らせることができる。 配偶者の出産に伴う休暇：出産時の付添、入院中の世話、出生の届出等のため3日間取得可。 男性の育児参加のための休暇：小学校就学前の子の育児のため、妻の産前産後8週間の期間中に5日の範囲内で取得可。 不妊治療休暇：年5日（体外受精等を受ける場合、15日）の範囲内で取得可。
その他福利	○健康管理 定期健康診断（年1回）、健康相談、メンタルヘルスカウンセリングなどを実施しているほか、人間ドック受診に対する助成制度もあります。 ○給付・貸付 病気やけが、出産、災害などに対する給付制度のほか、生活資金や住宅資金などの貸付制度も整備されています。
参考情報	
研修	県職員としていち早く活躍するための研修制度が充実しています。 土木系以外の学科を専攻されていた方も、土木職として必要な知識・技能を習得できます。 ■土木職員向けの研修（土木技術職員新規採用育成研修、土木工事監督員研修、土木積算研修、CAD操作研修、現地研修など） ■職位基本研修（新規採用職員研修、2年目職員研修、3年目職員研修、係長研修など） ■能力開発研修（Office系ソフト応用、プレゼンテーション、ビジネス交渉術、クレーム対応など）
配属・異動・昇任	【配属・異動について】 年1回提出する自己申告書に記載された本人の希望や適性などを参考にして、配属先が決定されます。概ね3年で配置転換が行われます。  採用後の一般的な異動のパターンは、次のとおりです。  ◎採用後、本庁又は出先機関に配属 ↓ ◎概ね3年後、本庁勤務の場合は出先機関へ異動、出先機関勤務の場合は本庁へ異動 ↓ ◎異動先で更に概ね3年後、本人の適性や希望に応じて、本庁または出先機関へ異動  【昇任について】 昇任は、人事評価（職員の能力・業績）、経験年数、適性など総合的に評価して行われます。基本的な職制は以下のとおりです。  ◎主事級＞主任主事級＞主査級＞係長級＞課長補佐級＞課長級＞次長級＞部長級
平均勤続年数	19.2年（一般行政職） 令和3年4月1日時点
有給休暇取得日数	11.5日間（令和2年実績）
管理職の女性比率	■本庁課長級以上 9.8% ■本庁課長補佐級以上 16.9%（令和3年4月時点）